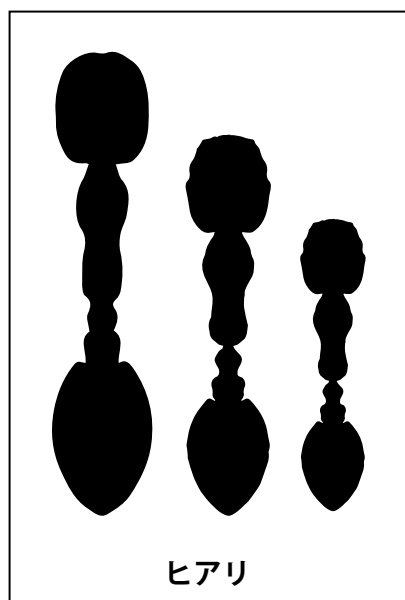
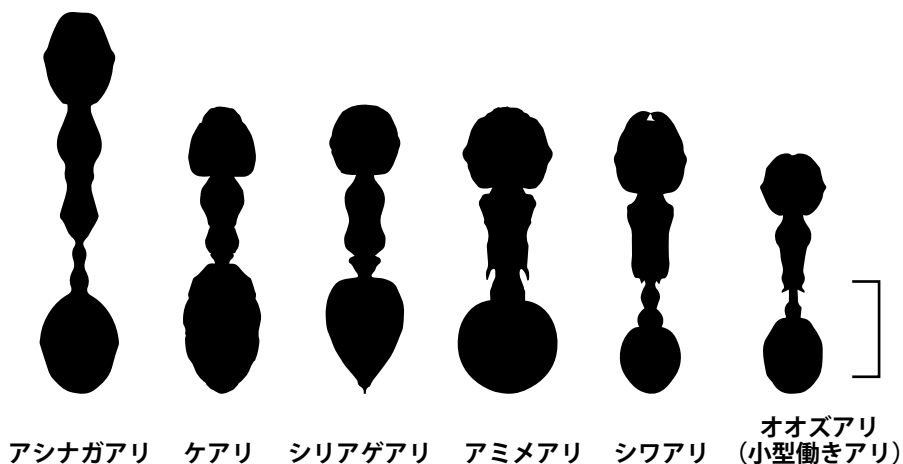


よく目にする在来アリとヒアリの肉眼でわかる違い



よく目にする在来のアリ（本州・関西圏）



ヒアリの働きアリ

- ・赤茶色のアリで，体表にシワや点刻がなく，光沢がある
- ・2.5mm から 6mm ぐらいまで，いろいろな大きさのアリがいる
- ・胸部にトゲなどはなく，シルエットはほっそりしており，華奢な体型をしている

よく目にする在来アリ

アシナガアリ：茶色から黒茶色のアリ。頭部や胸部にはシワや点刻があり，ヒアリのよ
うな光沢はない。頭部はヒアリのように丸くなく，細長い。大きさはバラつかない

ケアリ：黒色のアリ。腹柄節が1節で，ヒアリに比べてずんぐりしたシルエットをしている。
大きにバラつきはない。

シリアゲアリ：茶色から黄色のアリ。腹部を上部から見ると，ヒアリのように卵型では
なく，三角形をしていることと，腹部を背中側から頭部方向に曲げる行動で見分ける
ことができる

アミメアリ：茶色のアリ。胸部に網目状のシワがあり，ヒアリのよ
うな光沢はない。胸
部前方は角ばり，腹部側にはトゲがある。ヒアリよりもがっしりとしたシルエットして
いる。大きにバラつきはない

シワアリ：黒色から茶色のアリ。胸部にシワがあり，ヒアリのよ
うな光沢はない。胸部
前方は角ばり，腹部側には小さなトゲがある。大きにバラつかない

オオズアリ：赤茶色から黒色のアリ。頭部や胸部にシワがあり，ヒアリのよ
うな光沢はない。
胸部前方はやや角ばって盛り上がり，腹部側にトゲがある。大型と小型の2型の大き
さのアリがいて，中間の大きさのものはいないことでヒアリと見分けることができる